



2022年4月19日 キリスト教センター通信 第54号

「知らないほう」の扉を開く

キリスト教センター長 藤倉哲哉

あなたは、自分が知っているもの・経験したことがあるものと、知らないもの・経験したことがないものが並んでいたら、どちらを選びますか。

新入生のみなさんの中には、大学生になってこれまでは知らなかった世界や経験したことがないことを前に、大きな期待とともに何かしらの不安を抱いている人もいることでしょう。たくさんの「初めて」を前にして、単位が取れるか、卒業できるか、ひとりで生活できるか、友だちができるか、就職できるか…などなど。

知っていること、経験があることは一定の予想ができるので、不安を感じることはいくらか少ないはずですが、知らないこと、経験がないことはときに不安を呼び起こします。知らない人と話をするのは気まずい、初めてのことに手を出して失敗したくない、無理をしたくないという気持ちは「どうしよう…」と新しい世界の入口で扉を開くことを躊躇させたり逡巡させたりすることがあります。

しかし、考えてみれば誰にとっても生まれてこのかた何でもすべてが初めての経験で、多くの場合は「初めての自転車」も「初めての泊り」も特に意識することなくチャレンジを続けてきたはずです。知らないことに触れるのが「勉強」であり、新しい経験を重ねることは「成長」です。

それまでの知識や経験と次の課題にはギャップもありますが、私たちの「想像」はそのギャップを埋めてこれまでの知識や経験を新しいチャレンジにつなぎます。想像力は不安という漠然とした脅威を解消して人としての成長を促します。そう、海外プログラムも、チャペル活動も…。

大学への新入学は、日常生活のパターンや友だちとの人間関係だけでなく、通学や住居など生活圏も変わることが多く、経験したことがない、会ったことがない、行ったことがない、「知らないほう」や「…じゃないほう」は新生活をきっかけにあなたの世界を大きく広げるかも知れません。



HAPPY EASTER



一口メモ イースターといえば…

イースターといえば、かわいい動物たちが登場します。ウサギが多産や繁栄を、ヒヨコは生命の誕生を、また色とりどりのたまごはイエスの復活を表しているとされます。ゆで卵に食紅で模様を描くことが多いイースターエッグですが、細かい模様を施されたこちらの卵はろうけつ染めで作られたウクライナの工芸品です。

ウクライナのための祈り

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。

またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。

明日を恐れるすべての人々に、

あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。

平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。

そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子ども
たちを、あなたが抱き守ってくださいますように。

平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教

スティーブン・コットレル大主教

